



聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥 ？

校長 羽田野庸史

今年は、“暖冬”と言われていますが、皆さんは、どのようにお感じでしょうか？私は、気象情報で言うほど暖かくはないなあと思っていましたが、学校の正門脇の梅は、例年より早くたくさんの白い花を付け、いつもより暖かい冬であることを知らせていました。

さて、今月は、「人に聞く」ということについて少し考えてみたいと思います。私が小学生の頃、学校の先生は恐い存在でした。私は、自分自身が引っ込み思案だったこともあり、自分から先生のところに話に行くということはまずありませんでした。特に低学年の頃はその傾向が顕著で、私の記憶では、自分から先生に話に行った記憶はありません。ですから、授業で分からないことがあっても、帰りの会の連絡事項で聞き取れないことがあっても、先生に聞くということではなく、分からないことを分からないままにして家に帰っていました。だから、家で母親に今日の宿題を問われても答えられないことがありましたし、母親は自分の息子が学校の学習を十分に理解していないことは、容易に察しが付いたことと思います。そんな時、父親に言われたのが、冒頭の「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」ということわざでした。その意味するところは、ご存じだと思いますので、ここでは、その説明を省略させていただきますが、最近、私は、このことわざについて考えさせられることがありました。決して「人に聞く」ということを否定するわけではありませんが、「人に聞く」という行為の前に行うべきことがあるのではないかと考えるようになりました。実は、よく聞いて来る人に対して、「自分で考えれば分かりそうなことなのに…。」「同じこと、この前も聞いたのに…」と思うことがあります。中には、人に聞いておきながら自分が失敗してその理由を問われると、「～さんに聞きました。」と暗に自分の責任ではないと訴える人もいます。こういった人たちに共通しているのが、自分で考えたり、調べたりするより人に聞いてしまったほうが早く、失敗しても人に聞いたことだから自分には責任がないと考えているのではないかとということです。自分で考えたり、調べたりするのが面倒だから、聞いてしまったほうが早いという聞き方では、結局、自分の身にはならず、同じことを繰り返すのだと思います。自分で考え、自分で調べ、それで分かればそれはそれで自分の力になりますし、自分で考え、自分で調べ、それでも分からなかったら、「人に聞く」ということが大切なのだと思います。

4月から完全実施される学習指導要領では、児童に育成すべき資質・能力が3つの柱で整理されました。その2番目に「思考力・判断力・表現力等」の育成が掲げられています。何でもかんでも人に聞いて“その場しのぎ”をするのではなく、社会や生活の中で直面するような未知の状況の中でも、その状況と自分との関わりを見つめて具体的に何をなすべきかを整理したり、既得の知識や技能をどのように活用し、必要となる新しい知識や技能をどのように得ればよいのかを考えたりして人に聞いてこそ、一生の恥にならないものを得ることができるのだと思います。

【お願い】 4月初めの各学年のクラス数は、各学年の児童数によって決まります。転居・転勤等で転出することが決まった場合、速やかに学校へのご連絡をお願いします。また、ご近隣等で本校に転入予定の情報がございましたら、ご一報いただけると幸いです。

2月 行事予定

日	曜	行 事 等	放課後 遊び
1	土		
2	日		
3	月	学校公開 委員会活動 安全指導 キャラメル教室(5年、2・3校時)	5・6
4	火	学校公開 道徳授業地区公開講座	3～6
5	水	4時間授業	なし
6	木	児童集会	3～6
7	金	避難訓練	4～6
8	土		
9	日		
10	月	クラブ活動(3年見学・6時間授業)	4～6
11	火	建国記念の日	
12	水	フロッグデー	なし
13	木	音楽朝会	3～6
14	金		4～6
15	土	土曜授業日 ファミリー遊び 日本文化の時間	なし
16	日		
17	月		4～6
18	火	International Assembly(3・4校時)	3～6
19	水	体育朝会(1・6年)	なし
20	木	体育朝会(3・5年) 新一年生保護者会(14:45受付 15:00開始)	なし
21	金	体育朝会(2・4年)	4～6
22	土		
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火		3～6
26	水	4時間授業	なし
27	木		3～6
28	金		4～6
29	土		

お知らせ

学校公開について

3日(月)、4日(火)に今年度最後の学校公開があります。詳細につきましては、1月21付で学校より配布されたプリントをご覧ください。

道徳授業地区公開講座について

学校公開2日目の4日(火)の5・6校時に道徳授業地区公開講座を下記のように行います。全校一斉に道徳の授業を公開します。今回は生命をテーマに授業を行います。

◆5校時(13:40～14:25)

「生命」をテーマにした道徳授業公開(全学級)

◆14:30～15:30

保護者対象講演会

テーマ:インターネットの安心・安全な利用を学ぶ

講 師:e-ネットキャラバン

場 所:国際ABC教室

避難訓練について

今月の避難訓練は、7日(金)です。Jアラートが発令された際の行動の仕方について学習します。

International Assemblyについて

18日(火)3・4校時にInternational Assemblyが体育館で行われます。児童相互の学習発表の場であるため、特に保護者席はありませんが、保護者の方の参観も可能です。参観の際は、児童席後方にてお互いに譲り合ってご参観ください。

◆3校時(10:45～11:30)

1-A・3-1・5-1・2-1・4-A・6-1

◆4校時(11:35～12:20)

1-B・3-2・5-2・2-2・4-B・6-2

*人権の日について

2月の人権の日は、27日(木)です。給食は、中国の料理で、手作り肉まん、中華風かき玉スープです。

校庭開放について

2月の校庭開放は以下の通りです。

1日(土) 10:00～12:00

13:00～16:00

8日(土) 10:00～12:00

13:00～16:00

15日(土) 13:00～16:00

29日(土) 10:00～12:00

13:00～16:00

*フロッグデーについて

今月のフロッグデーは、12日(水)です。

生活指導

生活指導主幹 高橋 基樹

2月の生活目標

「寒さに負けず、進んで運動しよう」

1年で最も寒い時期ですが、外で運動したり遊んだりして、元気な体を作りましょう。また、インフルエンザ等にならないためには、うがい、手洗いが重要です。自分で寒さに負けない体づくりをしましょう。



学年の窓・5年生 Good Time

5年1組担任 村松 静香

5年2組担任 仁平 雄登

2月18日(火)に行われる International Assembly において、5年生は「Good Time」と題して、子供たちそれぞれが自分で Good Time だと感じる瞬間を英語で表現します。子供たちにアンケートをとると、笑顔を浮かべながら書き込む様子がありました。アンケートの中で多く出たものを紹介します。

- | | | |
|--------------|--------------------|-----------------|
| ・友達と遊んでいる時 | ・本を読んでいる時 | ・ライオンキングを成功させた時 |
| ・家族と過ごしている時 | ・音楽を聴いている時 | ・運動をしている時 |
| ・家でゆっくりしている時 | ・当たりが出た時 | ・ものや料理を作っている時 |
| ・寝ている時 | ・暑いときに冷たいジュースを飲んだ時 | |

友達や家族と過ごす時間という回答がとても多く、子供たちの素直で元気な様子や心の温かさを感じました。その思いを International Assembly で思い切り表現します。

高学年となってまもなく1年となり、学校生活の中でも友達や下学年のために活動する姿がより多く見られるようになってきました。6年生を送る会や卒業式などを通して、6年生から多くの役割を引き継ぎます。春からは、いよいよ最高学年として東町小を支える立場になります。6年生への感謝の気持ちや学校をまとめていく責任感を胸に、誰かのために一生懸命になれる最高学年を目指して素敵な Good Time を創っていきます。

避難訓練

生活指導部避難訓練担当 高橋 基樹

「ガタガタ」と揺れるたびに「いよいよ東京にも大地震がきたか」と思います。同じことを思われる方も多いのではないのでしょうか？

担任をしていて、忘れられない出来事の中に、寒い時期にあった大地震が2つあります。1つ目は、1995年(平成7年)1月に起きた阪神・淡路大震災です。朝5時過ぎの地震でしたが、経験のない大きさで報道も混乱していました。私は、6年の担任をしていました。休み時間ごとにテレビを見ると、行方不明や亡くなった人の数が、みるみるうちに増えていき、火災で神戸の街が変わっていく様子が映し出されていました。同じ学年の先生が、神戸の長田区の出身で、実家に電話をしても、何時間も連絡がつかず心配されていたのを思い出します。子供たちと映像を見ながらとてつもない恐怖を感じました。もう一つは、2011(平成23年)年3月の東日本大震災です。午後3時過ぎで、帰りの支度をしているときでした。大きく揺れ続けたので、「子供たちを守れるのだろうか」という不安が頭によぎるほどでした。校舎の3階から遠くを見ると、火の手が上がっていました。下校は、一人一人引き渡しになりましたが、何時間も保護者と連絡が取れず、不安に包まれた子供が何人もいました。交通網が麻痺していたので、最後に引き渡したのは、夜の11時過ぎでした。いつ起きるか分からない災害に、自分たちで日常の備えで被害を少なくする「減災」ということが大切だと考え、学校でもいろいろな時間、場面を想定した避難訓練を実施しています。

「通学路を守る」というのも、安全教育の一つです。下校途中に災害があったとき、保護者の方は、通学路を通して子供を迎えにくると思います。通学路を守っていないといざというとき出会えないことになります。学校でも家庭でも、日々、避難訓練や防災のことを話題にして、安全に対する意識を高めていきたいです。

校内研究について

研究推進委員長 高橋 明日香

毎年、東町小学校では、年度末に子供たちの学習の様子から課題となっていることについて話し合い、次年度にその課題を解決するための研究を行っています。今年度は、友達と考えを伝え合ったり、お互いの意見を認め合ったり、高め合ったりしていけるようにしたいという教師の願いより、昨年度に設定した研究主題にサブタイトルを付け加え、「“育成すべき資質・能力”を育てる指導と評価の在り方～伝え合い、認め合い、高め合い」を研究主題としました。

研究方法としては、低学年、中学年、高学年の3つの分科会に分かれ、それぞれの分科会で研究授業と、教師が児童役となる模擬授業の2つの方法を行いました。

4月当初には、「考えを伝えられる子」を育てるために、大切なことを「目標達成シート」を使って教師全員で話し合いました。自分が小学生だった時に話すことが苦手だったり、発表することが嫌だと感じたりした理由を挙げ、そもそも考えを思いつかないこと、他の子が話してくれるから自分が話す必要感がなかったことなど様々な「考えを伝えられない理由」があることに気付きました。この課題を解決するための方法を話し合い、すぐに学級で取り組める手立てを始めました。

研究授業では、ペアやグループでの話し合い活動を取り入れることで、よりよく児童がその時間のめあてを達成することができるようになってきました。模擬授業では、教師が児童目線で学習を受けることで、見やすい板書の仕方や、話し合いをさせる上での適切な時間配分などについて学ぶことができました。

来年度も今年の反省を生かして研究を行っていきます。



ファミリー活動について

特色委員会委員長 畠中圭一

東町小学校では、1年生から6年生までで16のグループを作り、それぞれのグループで一緒に遊んだり掃除をしたりする「ファミリー活動」があります。もともと児童数の少ない小規模校だった東町小では、このファミリー活動がとても盛んで、同じファミリーの友達同士で学年関係なく仲良しであるという伝統がありました。児童数が少なかった頃は、遠足も全校で一斉に行っており、同じファミリーの6年生が1年生の手を引いて一緒に歩いたり、ファミリー給食を毎年行って、一緒に昼食を食べたりする機会もありました。

近年、児童数が増え、充実した活動が難しくなってきましたが、この良き伝統を守るために、土曜授業日にファミリー遊びの時間を設けたり、ファミリー掃除を継続させたりすることで、子供たちは同じファミリーの子と仲良く交流しています。こういった「異学年交流」の場をもつことは、子供たちの成長にとってとても大切です。大人になって社会に出たとき、同じ年齢の人達とだけ仕事をするという場はまずありません。年齢も立場も様々な人達が集まっている中で、自分の役割を果たし、その人間性や能力が求められるような人になってほしいという願いをもって指導しています。

